

## 太田たみさん 満100歳顕彰式

東通村下田屋に在住の太田たみさんは、11月4日で満100歳の誕生日を迎えられ、同日、自宅において、林春美副村長から長寿を称える顕彰状と100歳祝金（100万円）が贈られました。

林晴美副村長から、「たみさんは、今でも時々、家族と外出したり、好き嫌いなく食事をされていると聞きました。また、特に、ビールが好きで、たまにいただいているとお伺いしています。出来るかぎり体を動かし、好き嫌いなく食事をされていることが長寿の一番の秘訣だと思いますので、今後も、健康を長く続けられ、どうかいつまでも元気で、家族共々、明るく楽しく過ごされて下さい」とお祝いの言葉がありました。

満100歳の顕彰制度は、平成6年に条例が制定され、以来、村では23人目となります。

たみさんは、太田春治さんと昭和8年8月28日に結婚、6人の子宝に恵まれ、お孫さん曾孫さん沢山に恵まれました。

現在、たみさんは、息子さんと楽しく幸せに過ごしております。今回の顕彰に際し、家族や親戚の方の祝福を受け、終始満面の笑顔でうなずいておりました。

これからも健康で長生きしてください。おめでとうございます。



## 「ともに生きる豊かな地域社会をめざして」

10月20日（火）、東通村体育館を会場に「東通村福祉の集い」が開催されました。

第1部の第23回東通村社会福祉大会では、吉田昭美大会長による式辞、越善靖夫名誉大会長による挨拶に続き、長年にわたり地域福祉活動に尽力された2名に表彰状が贈られました。また、社会福祉の重要性を深く認識し長年に亘り援助をされた功績に対し、1名の方に感謝状が贈られました。

式典後は、自殺問題などに積極的に取り組んでいる秋田大学大学院の佐々木久長准教授を招き、自殺予防や地域福祉のあり方について講演が行われました。佐々木准教授は、ご自身が長年取組み、また、相談者としても経験してきた自殺という問題について、個々の向き合い方や地域としてのフォローの仕方をお話しになりました。

第2部は「老人クラブ唄と踊りの集い」。32回を数える今回も、各地区老人クラブの皆さんが磨きかけた芸の数々で舞台上に立ち、東通村の芸能文化を培った熟練の手並みを披露しました。



飛び入りで“イタコ”も登場。会場を沸かせました。

### ◀ 福祉大会被表彰者 ▶

#### ◇ 表彰の部

氏名	ご功績
坂本達良	老部老人クラブ会長、また、東通村老人クラブ代表監事として老人クラブの普及・発展を図り、多年に亘り地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与された。
二本柳文江	上田屋老人クラブ会長、また、東通村老人クラブ監事として老人クラブの普及・発展を図り、多年に亘り地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与された。

#### ◇ 感謝状の部

氏名	ご功績
手打ちそば長寿庵 竹林和子	社会福祉の重要性を深く認識され、長年に亘り経済的援助をされました